



詳細については、川崎市ホームページを検索、2月8日報道発表資料(下記内容)をご確認ください。

鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能の検討に関する考え方について

資料

- 現状と課題**
 - 鷺沼駅周辺の地域は、昭和50年代に急激に開発が進んだ結果、商業・住宅・公共施設が集中して、交通・環境・景観の課題が顕著な高密度の土地利用となっている。今後、高齢化や建物の老朽化が顕著になることが想定されている。
 - 山が少なく、道路が狭い交通網のアクセスが乏しい地域であるものの、交通広場の機能活用などにより、バス駅副都心化による効果の期待が大きいなどの特徴がある。
- 鷺沼駅周辺の再編整備**
 - 鷺沼駅周辺では、平成27年度から鷺沼駅周辺地区の再編整備が開始され、再編整備の進展に伴って、駅周辺の再編整備が進められていく。また、再編整備の進展に伴って、駅周辺の再編整備が進められていく。また、再編整備の進展に伴って、駅周辺の再編整備が進められていく。
- 鷺沼駅周辺の再編整備に伴う公共機能の検討**
 - 再編整備の進展に伴って、駅周辺の再編整備が進められていく。また、再編整備の進展に伴って、駅周辺の再編整備が進められていく。
- 鷺沼駅周辺の再編整備に伴う公共機能の検討**
 - 再編整備の進展に伴って、駅周辺の再編整備が進められていく。また、再編整備の進展に伴って、駅周辺の再編整備が進められていく。

町内会は、区役所を含めた公共機能を鷺沼駅周辺へ移転を検討する際には、五所塚地区から区役所へのアクセス…バスによる直通便の運行及び向丘出張所の再活用を要望して参りたいと思います。

2月16日 町内会 高久